

がくかんせつしょう こうくうがんめん いた がいらい
顎関節症・口腔顔面痛み外来

顎関節症

☆顎関節症とは？

“あご”の関節や筋肉の病気で、“あご”を動かしたときに、痛い、音が出る、口が開きづらいなどの症状が出ます。

☆治療内容

- 薬による治療
- マウスピースによる治療
- 噛み合わせの治療
- 運動療法
- 温冷湿布
- 外科治療
- 神経ブロック

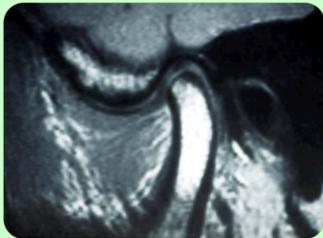
マウスピース



☆顎関節MRI検査

核磁気共鳴画像検査（顎関節MRI検査）を必要に応じて行い、顎関節の精密検査を行っています。

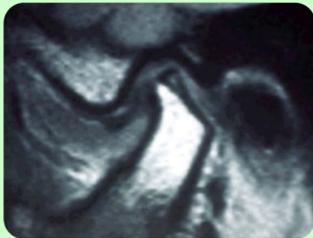
顎関節MRI検査



正常



関節円板前方転位
(図の*)



変形性顎関節症

☆治療費用について

基本的には**健康保険**が適応されます。通常の検査（顎関節MRI検査や診察）や治療（薬物療法やスプリント治療）などは健康保険適応になります。詳しくは、担当専門医にご相談ください。

☆歯ぎしりが原因で...

日中や睡眠中のくいしばり、歯ぎしりが原因で歯がすり減ると言われています。かみ合わせる筋肉の筋肉痛が起こることもあります。

かぶせの破損



咬耗（歯のすり減り）



歯ぎしりを測ってみませんか？

当科には、頬に貼るだけで歯ぎしりの頻度を測ることのできる装置があります。

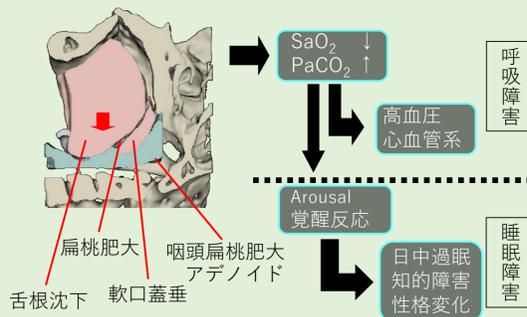
歯ぎしり測定装置



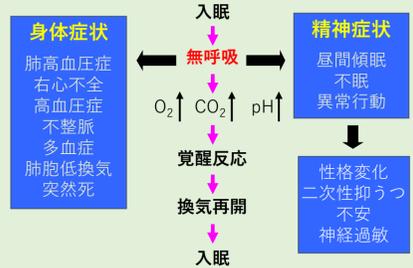
睡眠時無呼吸症候群のマウスピース療法

☆睡眠時無呼吸症候群の症状とは？

睡眠中に10秒以上の呼吸停止、つまり無呼吸が5回以上繰り返される病気です。呼吸自体が停止する場合と上気道（空気の通り道）が閉塞して起こる場合があります。主に以下の症状があります。

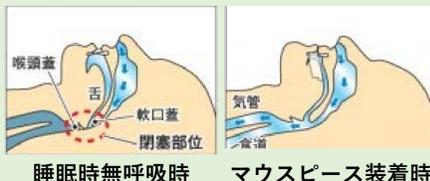


睡眠時無呼吸症候群の臨床症状



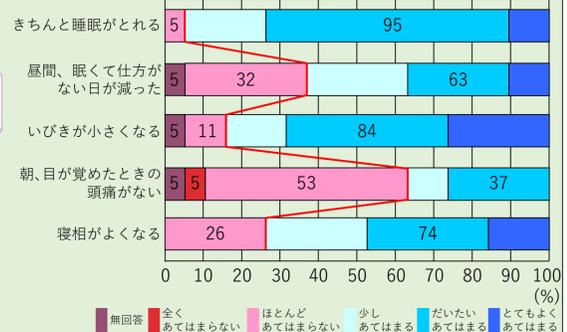
☆睡眠時無呼吸症候群の歯科的治療

口腔アプライアンス療法



睡眠中に口腔アプライアンスを装着し、下あごを前方に保持することで気道を広げます。

口腔アプライアンス療法の古典的治療効果



口腔アプライアンス療法の思わぬ治療効果



神経痛・慢性疼痛

☆顔の神経痛

顔面部分は神経痛によっても痛みます。



☆神経痛の原因

完全に解明されていませんが、神経が血管・腫瘍などにより圧迫されたり、自己免疫疾患などにより痛みが生じると考えられています。

* 顔の神経痛の約10%は脳腫瘍・多発性硬化症などの他の疾患が原因で生じます。MRI/CTなどを撮影することが必要です。



☆神経痛の治療

薬物療法と外科療法に大別されます。初期のほとんどのケースで薬が有効ですが、薬がきかなかったり、副作用のため服用できないときには、簡単な手術が必要です。



OKAYAMA UNIVERSITY

B22外来 診察時間：月～金
 ☎ 086-235-6791
 初診 8:30～11:00
 再来（予約優先）8:30～11:30, 13:00～15:30



岡山大学病院

OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL